

インドWGの開催状況報告

＝インドWGの概要＝

【経緯】

- 平成23年 2月25日 インドWG設置し、第1回WGを開催
- 平成23年 4月14日 第1回コアメンバー会議を開催

【WG登録企業（50音順）及びコアメンバー（黄色）】

- WG登録企業：43社
- コアメンバー：8社
- WGとりまとめ役：新日本製鐵 徳田英司氏、五洋建設 山口和之氏

株式会社IHI	株式会社住友倉庫
IHI運搬機械株式会社	双日株式会社
あおみ建設株式会社	中央復建コンサルタンツ株式会社
伊藤忠商事株式会社	TCM株式会社
株式会社エコー	東京計器株式会社
株式会社NTTデータ	日建工学株式会社
株式会社大林組	株式会社日新
株式会社オリエンタルコンサルタンツ	日本工営株式会社
株式会社上組	株式会社日本港湾コンサルタント
ケイヒン株式会社	日本電気株式会社
五洋建設株式会社	日本郵船株式会社
J&K ロジスティクス株式会社	パシフィックコンサルタンツ株式会社
JFEスチール株式会社	日立造船株式会社
シバタ工業株式会社	株式会社フジタ
清水建設株式会社	株式会社本間組
株式会社商船三井	丸紅株式会社
新日鉄エンジニアリング株式会社	株式会社みずほコーポレート銀行
新日本製鐵株式会社	三井造船株式会社
住友金属工業株式会社	三井物産株式会社
住友ゴム工業株式会社	三菱重工業株式会社
住友重機械エンジニアリングサービス株式会社	三菱倉庫株式会社
住友商事株式会社	

＝各会合の開催概要＝

【第1回WG】

日 時) 平成23年2月25日(金) 10:30～12:00

場 所) 中央合同庁舎3号館10階共用会議室A

出席者) 民間企業43名、関係機関7名、政府関係者9名

議 事)

- ・インドWGの進め方について
- ・インドにおける港湾物流プロジェクトの情報提供
 - －インド物流インフラの動向について(総合政策局)
 - －インドの港湾について(港湾局)
 - －JICAの取り組みについて(JICA)
 - －インドの港湾プロジェクトに係る制度と周辺情報(OCDI)
- ・コアメンバーの選出

■JICAより、「インドにおける港湾分野への取組事例」や、「PPPインフラに関するJICAの支援イメージ」に関する情報提供があった。また、OCDIより「インドの法制度や港湾の組織」、「港湾計画・投資計画」、「調達制度」、「技術基準」、「我が国や諸外国のインド進出実績」等に関する情報提供があった。

■インドから見た国際物流としてのハブ機能やハブ形成の方向性について知りたい等の意見や、日本企業が海外企業と競争していくための戦略の方向性に関する意見が出た。

■最後に、本WGの中心となるコアメンバーを選出するため、WG企業へ希望を募り、以下の企業がコアメンバーとして承認された。

J&Kロジスティクス、パシフィックコンサルタンツ、三井造船、日新、五洋建設、

■なお、WG終了後日、新日本製鐵、中央復建コンサルタンツ、三井物産にコアメンバーにご加入頂いた。



【コアメンバー会議】

インドWGを設置後、第1回コアメンバー会議を開催。会議において、WGのとりまとめ役として、新日本製鐵徳田氏、五洋建設山口氏を選出。議事内容については、主に次回以降のインドWGで取り上げるべきテーマについて議論を行った。主な内容は以下のとおり。

- インド側のニーズを、日インド港湾セミナーを通して掘り起こしてはどうか。
- 新規プロジェクトの案件形成の段階から、どのように官民連携を進められるかについて議論する必要があるのではないか。
- 新規プロジェクト案件に取り組む際に、収益を挙げるにはどのような方策をとればよいか。
(土地、税制の問題、諸外国との競争、ハードとソフトの切り分け)
- 今後インドが世界進出する上で、日本のサービス水準が必要であるというような説明をしてゆく必要があるのではないか。

【今後の進め方】

○コアメンバー会議において、次回以降のインドWGで取り上げるべきテーマについて、議論を深める。

○次回のWGについては、上記に加え、以下の点を報告予定。

- ・インド西部案件形成調査の結果の報告
- ・今年の3月に国際環境課が当地でインド商工会と意見交換を行ったインド商工会議所のメンバーより説明のあった港湾開発案件に関するプロジェクトについての情報提供
- ・港湾関係日本企業の海外展開や活動を後押しするため、インドにて日インド港湾セミナーを夏ごろに予定している旨